

学校教育目標	たすけあう子 かんがえる子 たくましい子
目指す学校像	「はじめに子どもありき」の教育 ○児童一人ひとりが輝く学校 ○保護者にとって通わせてよかった学校 ○地域にあってよかった学校 ○教職員にとって勤めてよかった学校

重点目標	1 主体的に学び続ける力の育成 2 豊かな人間性と健やかな体の育成 3 開かれた学校づくり 4 安心・安全な教育環境の整備 5 教職員の資質向上と働き方改革の推進
------	---

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価					学校運営協議会による評価		
年度目標					年度評価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査「学びに向かう力等」の項目で肯定的な回答をした児童の割合は、全国・市平均と比べ概ね良好な結果である。</li> <li>○市の学習状況調査の結果では、「読書習慣」に関する設問について、概ね良好な結果である。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査結果では、算数の正答率が全国・市平均と比べやや低い傾向がある。特に「数と計算」領域に関する設問について課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①全国及び市の学習状況調査の結果を基に校内分析し、市教委による学力向上カウンセリング研修を受け、より効果的な手立てを設定する。</li> <li>②学年の教科担任制に加え、中学年においても発達段階を踏まえた教科担任制を導入する。</li> <li>③探究型の学習過程「学びのシンキングサイクル」(課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現)を意識した授業を実践する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>②調査結果の分析や結果及び学力向上カウンセリング研修を踏まえ、授業改善の視点、手立てを学年ごとに設定し、実践することができたか。</li> <li>②中学年の教科担任制を実施したか</li> <li>③年間指導計画を具体化する学習指導計画を作成したか(生活・総合的な学習)。</li> </ol> <p>①～③学校自己評価に係るアンケートで「真剣な学び/進んで学習」の肯定的な回答が90%以上。</p>			
2	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査「学校に行くのが楽しい」の質問に肯定的な回答をした児童の割合は、全国・市平均を上回った。「Well-Being」の設問においても概ね良好な結果である。</li> <li>○市の学習状況調査「やり遂げる」「挑戦している」の質問に肯定的な回答をした児童の割合は、市平均と比べ概ね良好である。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市の学習状況調査「自分によいところがあると思いませんか」の設問において、肯定的な回答が低・中学年で市平均をやや下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人ひとりへの細やかな教育支援・相談に向けた校内支援体制の充実</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①児童の意見を基に学校生活における全児童の合言葉を設定し、グランドデザインに位置付ける。児童・教職員間で意識化・共有化を図り、教育委活動全体で活用する。</li> <li>②保護者との「個人面談週間」や「にこにこ相談日」を設定する。児童・保護者へSC・SSWの周知と活用への橋渡しをする。</li> <li>③児童の安全・安心な居場所の確保や自己肯定感の向上、学習機会の保障に向け、校内教育支援センター「Sola Room」を常設する。</li> <li>④児童の発達過程を支え自己肯定感や自己有用感向上に向け「発達支持的生徒指導」を実践する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①合言葉をグランドデザインに位置付けたか。児童・教職員が教育活動全体で意識して活用したか。</li> <li>②「個人面談週間」や「にこにこ相談日」を設定したか。児童・保護者にSC・SSWの周知と活用に向け連絡調整をしたか。</li> <li>③校内教育支援センター「Sola Room」を常設したか。</li> </ol> <p>①～④学校評価「児童一人ひとりを大切にしている教師」の児童肯定的回答90%以上。「教職員は、保護者や児童からの相談や要望に対して、誠実に対応していますか」の児童・保護者肯定的回答90%以上。</p>			
3	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登下校の見守り活動や読み聞かせなど、地域や保護者の方々の支援を得ながら、地域学校協働活動が長年に渡り実施されている。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動や児童の様子及び学校運営協議会の内容を保護者・地域に周知し、協働活動の一層の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域との連携・協働を重視したコミュニティ・スクールの進化</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域人材や保護者等を活用した教育活動を各学年の教育課程に位置付ける。</li> <li>②児童参加型の学校運営協議会を開催し、意見交換の場を設け、保護者・地域とともに協働活動を進める。</li> <li>③防犯ボランティア協議会と地域の会を統合した日進小SSNを立上げ、取組や成果・課題等について共有し、組織的・継続的な連携・協働体制を構築する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①地域人材や保護者等が関わる教育活動を各学年に位置付けたか。</li> <li>②児童参加型の学校運営協議会を開催することができたか。</li> <li>③学校運営協議会の年3回開催に加え、SSN協議会を年2回開催したか。</li> </ol> <p>①～③学校評価「地域にあってよかった学校」の地域肯定的回答90%以上。</p>			
4	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度、施設・設備の瑕疵等による児童の大きなけがは起こらなかったが、施設の老朽化が進んでいる。</li> <li>○R9年度リフレッシュ工事を着手に向け、教育委員会との連絡調整を進めている。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の安全点検を基に危険箇所の修繕を進め、安心・安全な教育環境を維持する。</li> <li>○限られた予算内で、重要度・必要度を踏まえた適切・適正な予算執行を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な学校施設の管理と計画的な予算執行</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①金属探知機を用いた校庭の危険物除去を実施する。</li> <li>②給食の食缶等をワゴン車まで運搬する運搬用ワゴンを導入する。</li> <li>③毎月、全職員によるチェックシートを活用した安全点検を実施する。管理職による目視・接触による点検を実施する。</li> <li>④予算会議を年間3回開催し、優先順位を踏まえた予算配分と執行を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①金属探知機を用いて、校庭の危険物を除去したか</li> <li>②食缶等をワゴン車まで運搬する給食運搬用ワゴンを導入したか。</li> <li>③危険・修繕箇所発見から対策を立て、1か月以内の改善に向けた対応を実施したか。</li> <li>④予算会議を年3回開催したか。</li> </ol> <p>①～④予算執行率95%以上。</p>			
5	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度、研究主任を中心に、教職員のボトムアップによる研究を推進し、1人1公開授業を実施してきた。</li> <li>○学校全体・教職員一人ひとりが「量的・質的な働き方改革」に取り組んでいる。</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「量的な働き方改革」と「質的な働き方改革」をバランスよく進める。</li> <li>○時間外在校等時間や業務の負担感・多忙感に個人差がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の資質向上と「働きやすさ」「働きがい」のある職場環境づくり</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①一人年間2回の授業公開と年間3回の授業参観をする。</li> <li>②市教委から指導者を招聘し、教員対象の「いじめ対応」校内研修会を実施する。</li> <li>③市教育研究会授業会場として2授業を提供し、指導者や市内教員からの指導助言を受ける。</li> <li>④「さいたま市立学校における働き方改革マスタープラン」を教職員に周知する。</li> <li>⑤笑顔とユーモア、対話の機会を重視し、同僚へのサポートを基本とした人間関係を構築する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①一人年間2回の授業公開と年間3回の授業参観を実施したか。</li> <li>②市教委から指導者を招聘し、教員対象の「いじめ対応」校内研修会を実施したか。</li> <li>③市教育研究会授業会場として2授業を提供し、指導者や市内教員からの指導助言を教育活動等に反映したか。</li> <li>④「さいたま市立学校における働き方改革マスタープラン」を教職員に周知したか。</li> </ol> <p>①～⑤学校評価「保護者から信頼される教師」保護者肯定的評価90%。「教職員にとって勤めてよかった学校」教職員肯定的評価90%。</p>			

学校運営協議会による評価  
実施日令和 年 月 日  
学校運営協議会からの意見・要望・評価等